

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社ニチダイ

コード番号 6467 URL <http://www.nichidai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古屋 元伸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 藤本 光洋

TEL 0774-62-3481

四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,282	△59.3	△310	—	△289	—	△194	—
21年3月期第1四半期	3,149	—	216	—	218	—	134	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△21.49	—
21年3月期第1四半期	14.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	11,503	6,704	55.9	710.47
21年3月期	11,522	6,848	57.2	728.08

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,430百万円 21年3月期 6,590百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	0.00	8.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	3,100	△50.4	△485	—	△540	—	△360	—	△39.77
通期	7,500	△27.8	△490	—	△610	—	△400	—	△44.19

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	9,053,300株	21年3月期	9,053,300株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,643株	21年3月期	1,643株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	9,051,657株	21年3月期第1四半期	9,051,745株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における、当社の主要顧客業界である国内自動車業界は、昨年から続く景気低迷の影響による生産台数の減少傾向は止まったものの、依然低迷した状況が続いております。また、海外における自動車産業においては、中国など回復の兆候が見える市場がありますが、米国、欧州など先進国市場は停滞した状況が続いております。

このような状況のなか、ネットシェイプ事業では、国内外の金型部門及び精密鍛造品部門ともに、自動車産業の景況悪化に伴う売上高の減少傾向は止まったものの、低水準で推移しており、売上高は6億6千8百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

また、アッセンブリ事業においても、VGターボチャージャー部品の主力納入先となる欧州自動車市場の停滞が続いていることから、売上高は3億7千9百万円（前年同期比54.3%減）となりました。

フィルタ事業においては、以前から進めてきた新製品・新用途開発の結果、ヘルスケア製品産業等の新規顧客向け販売は増加いたしました。また、景況悪化に伴う石油掘削用フィルターの需要減退や、国内市場における設備投資の大幅後退の影響を受け、売上高は2億3千4百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

以上の状況から、連結売上高は12億8千2百万円（前年同期比59.3%減）と大幅に減少する結果となりました。

損益面におきましては、自動車産業に関連が深いネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の売上高が大幅に減少したことから、営業損失3億1千万円、経常損失2億8千9百万円、四半期純損失1億9千4百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1千9百万円減少し115億3百万円となりました。

流動資産におきましては、前連結会計年度末に比べ2億5千8百万円減少し51億4千5百万円となりました。これは、主に現金及び預金が4億2千1百万円増加、受取手形及び売掛金が6億6百万円減少したことによるものであります。

固定資産におきましては、前連結会計年度末に比べ2億4千1百万円増加し63億5千1百万円となりました。これは、主にNICHIDAI (THAILAND) LTD. の工場が完成し、生産ラインを設置したこと等により有形固定資産が7千9百万円増加したこと、当第1四半期連結会計期間における欠損金に係る繰延税金資産計上1億3千2百万円によるものであります。

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ1億2千3百万円増加し47億9千8百万円となりました。これは、主に買掛金が1億8百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、当第1四半期純損失1億9千4百万円等により1億4千3百万円減少し67億4百万円となり、自己資本比率は55.9%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億2千1百万円増加し17億4千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5億4千3百万円（前年同四半期は4億4千7百万円の使用）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純損失2億8千8百万円、減価償却費1億2千9百万円、売上債権の減少額6億6百万円、仕入債務の増加額1億8百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億1千4百万円（前年同四半期比61.2%減）となりました。これは、主にNICHIDAI (THAILAND) LTD. の生産ラインの設置等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2千7百万円（前年同四半期は7億7千1百万円の獲得）となりました。これは、主に長期借入れによる収入3億円より長期借入金の返済による支出1億7千9百万円、短期借入金の減少額1億2千9百万円を差し引いた結果によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月1日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第22号 平成20年5月13日）を適用しておりますが、該当事項はありません。

②「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）の適用に伴い、前第1四半期連結会計期間において、「製品」として掲記されていたものは、当第1四半期連結会計期間は「商品及び製品」と一括して掲記しております。なお、当第1四半期連結会計期間に含まれる「製品」は、460,039千円であります。

また、前第1四半期連結会計期間において、「原材料」と流動資産の「その他」に含めていた「貯蔵品」（44,511千円）は、当第1四半期連結会計期間は「原材料及び貯蔵品」と一括して掲記しております。なお、当第1四半期連結会計期間に含まれる「原材料」「貯蔵品」は、それぞれ172,885千円、46,152千円であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,091,777	1,670,320
受取手形及び売掛金	1,483,964	2,090,019
商品及び製品	460,039	422,983
仕掛品	529,921	492,262
原材料及び貯蔵品	219,037	231,257
その他	363,393	500,828
貸倒引当金	△2,616	△3,600
流動資産合計	5,145,517	5,404,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,747,394	1,621,248
機械装置及び運搬具(純額)	1,644,118	1,641,916
土地	1,779,397	1,771,006
その他(純額)	191,382	248,648
有形固定資産合計	5,362,293	5,282,819
無形固定資産	28,556	31,364
投資その他の資産	961,110	795,981
固定資産合計	6,351,960	6,110,165
繰延資産	6,007	8,497
資産合計	11,503,485	11,522,734
負債の部		
流動負債		
買掛金	339,359	231,220
短期借入金	1,129,362	1,228,607
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	4,092	56,383
賞与引当金	207,417	111,260
その他	380,722	410,169
流動負債合計	2,060,954	2,047,641
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	1,620,865	1,525,144
退職給付引当金	11,746	8,241
長期末払金	87,402	93,568
その他	17,612	—
固定負債合計	2,737,626	2,626,954
負債合計	4,798,581	4,674,595

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,429,921	1,429,921
資本剰余金	1,192,857	1,192,857
利益剰余金	3,883,515	4,078,025
自己株式	△1,030	△1,030
株主資本合計	6,505,263	6,699,773
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,834	48
為替換算調整勘定	△81,185	△109,465
評価・換算差額等合計	△74,351	△109,416
少数株主持分	273,992	257,782
純資産合計	6,704,903	6,848,138
負債純資産合計	11,503,485	11,522,734

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,149,435	1,282,281
売上原価	2,466,125	1,248,692
売上総利益	683,310	33,589
販売費及び一般管理費	466,586	343,871
営業利益又は営業損失(△)	216,724	△310,282
営業外収益		
受取利息	1,370	939
受取配当金	218	34
為替差益	23,298	3,673
助成金収入	—	27,480
その他	3,238	9,916
営業外収益合計	28,125	42,044
営業外費用		
支払利息	20,033	16,514
その他	6,119	4,482
営業外費用合計	26,153	20,996
経常利益又は経常損失(△)	218,696	△289,235
特別利益		
投資有価証券売却益	9,726	—
貸倒引当金戻入額	16,668	983
特別利益合計	26,395	983
特別損失		
固定資産売却損	214	66
固定資産除却損	60	536
特別損失合計	274	602
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	244,817	△288,854
法人税、住民税及び事業税	82,700	1,885
法人税等調整額	31,631	△96,853
法人税等合計	114,331	△94,968
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,837	624
四半期純利益又は四半期純損失(△)	134,322	△194,510

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	244,817	△288,854
減価償却費	151,163	129,611
賞与引当金の増減額(△は減少)	162,779	96,139
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,738	3,504
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,668	△983
受取利息及び受取配当金	△1,588	△973
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,726	—
支払利息	20,033	16,514
有形固定資産除却損	60	536
有形固定資産売却損益(△は益)	214	66
売上債権の増減額(△は増加)	△699,811	606,610
たな卸資産の増減額(△は増加)	314	△61,688
仕入債務の増減額(△は減少)	△67,033	108,139
その他	△16,761	△11,708
小計	△230,468	596,914
利息及び配当金の受取額	1,244	2,432
利息の支払額	△12,415	△11,830
法人税等の支払額	△205,474	△43,929
営業活動によるキャッシュ・フロー	△447,113	543,586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△304,481	△141,793
有形固定資産の売却による収入	32	66
投資有価証券の取得による支出	△138	△146
投資有価証券の売却による収入	15,265	—
子会社株式の取得による支出	—	△19,646
子会社株式の売却による収入	—	48,890
その他	△4,921	△1,412
投資活動によるキャッシュ・フロー	△294,243	△114,042
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	859,602	△129,634
長期借入れによる収入	166,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△190,197	△179,614
長期未払金の返済による支出	—	△7,413
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△22	—
配当金の支払額	△54,056	△481
財務活動によるキャッシュ・フロー	771,325	△27,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,747	19,056
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,221	421,456
現金及び現金同等物の期首残高	658,366	1,320,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	665,587	1,741,777

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	ネットシェイ プ (千円)	アッセンブ リ (千円)	フィルタ (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,994,415	830,032	324,987	3,149,435	—	3,149,435
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,994,415	830,032	324,987	3,149,435	—	3,149,435
営業利益	181,956	34,092	675	216,724	—	216,724

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	ネットシェイ プ (千円)	アッセンブ リ (千円)	フィルタ (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	668,798	379,361	234,120	1,282,281	—	1,282,281
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	668,798	379,361	234,120	1,282,281	—	1,282,281
営業損失 (△)	△269,286	△38,731	△2,265	△310,282	—	△310,282

(注) 1. 事業区分の方法の変更

前第1四半期連結累計期間

事業区分の方法については、従来、事業の種類・性質の類似性等の観点に基づき「金型事業」、「精密鍛造品・アッセンブリ事業」、「フィルタ事業」の3区分としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、組織再編による事業部門の変更にあわせ、「金型事業」と「精密鍛造品・アッセンブリ事業」に含まれている精密鍛造品部門を包括し「ネットシェイプ事業」とし、全セグメントに占める割合が高くなった「アッセンブリ事業」を分離する事業区分に変更することといたしました。

この結果、従来の「精密鍛造品・アッセンブリ事業」に含まれていた精密鍛造品部門の売上高372,770千円、営業費用313,389千円は、従来の「金型事業」に包括され「ネットシェイプ事業」のそれぞれの金額に加えて表示されています。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
ネットシェイプ事業	自動車部品メーカーを中心とした、主に冷間鍛造に使用される精密鍛造金型等、エアコン用コンプレッサー部品、各種ギア等自動車部品等
アッセンブリ事業	VGターボチャージャー部品
フィルタ事業	石油化学、医薬品、食品、原子力などの分野で使用される焼結金属フィルタ等

3. 会計処理の方法の変更

前第1四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、営業利益が、ネットシェイプ事業で31,858千円、フィルタ事業で4,481千円それぞれ減少しております。

当第1四半期連結累計期間

(連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針)

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第22号 平成20年5月13日）を適用しておりますが、該当事項はありません。

4. 追加情報

前第1四半期連結累計期間

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正を契機として見直しを行い、当第1四半期連結会計期間より、機械装置の耐用年数の変更を行いました。

これにより、従来の方法によった場合と比べて、当第1四半期連結会計期間の営業費用はネットシェイプ事業が1,433千円、アッセンブリ事業が1,107千円、フィルタ事業が1,122千円それぞれ増加し、営業利益がそれぞれ同額減少しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	計
I 海外売上高（千円）	122,136	19,531	233,837	375,505
II 連結売上高（千円）	—	—	—	3,149,435
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	3.9	0.6	7.4	11.9

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	計
I 海外売上高（千円）	9,490	13,112	161,600	184,203
II 連結売上高（千円）	—	—	—	1,282,281
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	0.8	1.0	12.6	14.4

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) ヨーロッパ……ポルトガル、スイス

(3) アジア……………台湾、中国、韓国、インド、シンガポール、タイ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国、又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 企業結合等

該当事項はありません。

6. その他の情報

受注及び販売の状況

(1) 販売実績

事業別	第1四半期			当期累計	
	金額（千円）	前年同期比（%）	前四半期比（%）	金額（千円）	
				計画	実績
ネットシェイプ	668,798	33.5	82.5	710,000	668,798
アッセンブリ	379,361	45.7	72.7	370,000	379,361
フィルタ	234,120	72.0	80.3	230,000	234,120
合計	1,282,281	40.7	79.0	1,310,000	1,282,281

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

事業別	第1四半期			当期累計	
	金額（千円）	前年同期比（%）	前四半期比（%）	金額（千円）	
				計画	実績
ネットシェイプ	923,835	50.1	173.9	840,000	923,835
アッセンブリ	392,761	46.3	103.7	370,000	392,761
フィルタ	261,882	68.0	128.4	250,000	261,882
合計	1,578,479	51.3	141.7	1,460,000	1,578,479

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. ネットシェイプの精密鍛造品部門とアッセンブリの受注状況には、内示受注高を含んでおります。

(3) 受注残高

事業別	第1四半期		
	金額（千円）	前年同期比（%）	前四半期比（%）
ネットシェイプ	868,669	63.0	141.6
アッセンブリ	500,100	56.9	102.8
フィルタ	170,364	58.3	119.5
合計	1,539,134	60.3	123.8

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. ネットシェイプの精密鍛造品部門とアッセンブリの受注残高には、内示受注高を含んでおります。